

事業報告書

事業期間
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

本部
母子父子福祉センター
ゆたか保育園
わかば保育園
売店

平成 30 年度 社会福祉法人豊中市母子寡婦福祉会 事業報告書

1. 事業報告

(1) 会議

- | | |
|---------------|--|
| ① 役員会（定例） | 年間 9 回開催 |
| ② 臨時運営会議 | 開催無 |
| ③ 理事会・評議員会・監査 | 評議員会：H30. 6. 25/H31. 3. 18（2 回）
理 事 会：H30. 6. 5/H31. 3. 4（2 回）
監 査：H30. 5. 25（1 回） |

(2) 生活支援事業

- ① ひとり親家庭等日常生活支援事業（豊中市からの委託事業）

(3) 広報活動事業

- | | |
|--------------|-------------------------|
| ① 広報部活動 | 随時 |
| ② 事業案内発行 | 随時 |
| ③ 「大阪ぼしれん」配布 | 年 4 回（5 月・8 月・11 月・1 月） |
| ④ ホームページの更新 | 随時 |

(4) 母子及び寡婦福祉法第 25 条に係る売店事業・飲料水自動販売機事業

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| ① 市立豊中病院内売店事業 | 「ローソン市立豊中病院店」の経営 |
| ② 飲料水自動販売機事業 | 市内 7 箇所（7 台）販売手数料：1,142,034 円 |

※上記で得た収入は、お母さん旅行・おしゃべり茶話会等の事業費の一部に充当した。

(5) 会員自主事業

- | | |
|---------|--|
| ① 趣味の講座 | ペン習字（毎月第 1・第 3 金曜日）年間参加人数 203 名
編 み 物（毎月第 2・第 4 火曜日）年間参加人数 61 名 |
| ② 同好会 | カラオケ同好会・ハイキング同好会・母子部サークル |

(6) 会員の交流活動

センター夏まつり（7/29）は台風 12 号の影響により残念ながら中止となった。

【交流会（母子・父子）】

	事業名	事業内容
(1)	おしゃべり茶話会	・未就学児の親子を対象としたおしゃべり会を開催。押し花を使ったコースター作りをして参加者同士の交流を図った。 参加者（12 名）3/24（日）

【交流会（寡婦）】

	事業名	事業内容
(1)	茶話会・クッキング	・寡婦さん同士でポップコーンを作り、お茶を飲みながら楽しくおしゃべりをし、交流を図った。 参加者（14 名）4/11（水）
(2)	お母さんバスツアー	・淡路島から大鳴門海峡を渡り徳島県へ。鳴門うずしお観潮船に乗り、潮が激しくぶつかり渦を巻く様子を楽しみ、丸山港の「寿荘」で海の幸を贅沢に使った昼食を堪能、北淡震災記念公園で災害時の備えの大切さを再確認した。参加者同士の交流を深める楽しいバスツアーでした。 参加者（29 人）5/27（日）
(3)	クッキング	・いも餅とチーズケーキトーストを全員で楽しく作り、おいしく食べて親睦を深めた。 参加者（13 名）6/13（水）
(4)	健康体操	・専門の講師を迎え、ツボ踏みやボールを使い音楽に合わせて身体を動かした。 参加者（14 名）7/11（水）
(5)	お茶会	・お抹茶をたておはぎをいただきながら、楽しくおしゃべりをし参加者同士の交流を図った。 参加者（12 名）9/12（水）
(6)	ランチ・ハイキング	・天満天神さん「繁盛亭」で落語 4 席を大笑いし、楽しんだ後、ランチ会場の扇町まで天神橋商店街を 30 分ほどおしゃべりをしながら散策。和気あいあいとおいしい食事をいただき、交流を深めた。参加者（15 名）10/14（日）

(7)	茶話会	・お弁当を食べ、ローソンのクリスマスケーキを試食し、楽しく歓談しながら仲間同士の交流を図った。 参加者（13名）11/14（水）
(8)	クリスマス会	・松ぼっくりでクリスマスツリーを作成し、クリスマスケーキを食べながら楽しくおしゃべりをして親睦を深めた。 参加者（14名）12/12（水）
(9)	クッキング	・ぜんざいをみんなで調理し、楽しくお話ししながらおいしくいただき交流を深めた。 参加者（12名）2/13（水）
(10)	茶話会	・色紙に兜の貼り絵をし、色紙作成を楽しみ、喜びを分かち合いながら親睦を深めた。 参加者（15名）3/13（水）
(11)	おしゃべり茶話会	・未就学児の親子を対象としたおしゃべり会を開催。押し花を使ったコースター作りをして参加者同士の交流を図った。 参加者（12名）3/24（日）

【交流会（豊中市立文化芸術センターご招待催し）】

	事業名	事業内容
(1)	ドラマティック能	・大阪シテ方初の人間国宝に選出された、大槻文藏の高度な技術と素晴らしい舞を堪能した。 参加者（42名）4/21（土）
(2)	家族でオーケストラ体験ワークショップ	・プロの鍵盤ハーモニカ奏者と一緒にオリジナルの音楽を創り、みんなで演奏してオーケストラ体験を楽しんだ。 参加者（2名）8/16（木）
(3)	ヤノシュ・オレイニチャク ピアノリサイタル	・ポーランドを代表する最高のショパン弾きであるヤノシュ・オレイニチャクのオールショパンプログラムに感動。 参加者（38名）11/3（土・祝）
(4)	セルゲイ・カスプロフ ピアノリサイタル	・ソ連の遺伝子を受け継ぐセルゲイ・カスプロフのクラシックの旋律に酔いしれた。 参加者（8名）2/17（日）
(5)	こどもクラシックの日 アドベンチャー・ジ・オーケストラ	・大人気の作曲家が探検隊長となる大迫力のオンガクの世界を楽しんだ。豊中だけのオリジナルオーケストラ作品に出合った。 参加者（16名）3/23（土）

(7) 相談事業

① 子育て・就労・生活等に悩んでいる母子家庭及び寡婦並びに父子家庭の方へのサポートをした。(離婚前相談にも対応)

2. 大阪府母子寡婦福祉連合会事業

- ◇ 母子家庭母の集い 7/22 (日) 20 名参加
- ◇ 奨学金給付式 6/9 (土) 21 名授与される。年額：6 万円
- ◇ 皓養社・高津・奥田助成事業「ひとり親家庭と子の交流事業」ハチ高原
8/18 (土) ～8/19 (日) 4 組 9 名参加
- ◇ 大阪府母子寡婦福祉大会 2/17 (土) 18 名参加

平成30年度 事業報告書

豊中市立母子父子福祉センター

自平成30年4月 1日
至平成31年3月31日

事業名		事業内容
就労支援講座	介護職員初任者研修	5/13～8/19（日）15回 定員15人 受講者 10人 受講者合計150人 修了試験受講者数10人 合格者数10人
	事務職をめざすための 日商簿記3級検定対策講座	9/9～11/11（日）20回 定員20人 受講者 11人 保育申込者2人 受講者合計180人 保育利用者合計13人 総人数193人 検定試験申込者数11人 受験者数8人 合格者数3人
	ビジネスパソコン基礎講座	10/4～11/29（木）9回 定員15人 受講者15人 受講者合計258人 検定試験申込者3人 受験者数3人 合格者数2人
	調剤事務管理士 資格取得講座	2/2～3/22（日）14回 定員20人 受講者15人 保育利用者2人 受講者合計191人 保育利用者合計13人 総人数204人 検定試験申込者15人 受講者数14人 合格者数11人
学習支援講座	ひとり親家庭学習支援教室	4/14～3/23 毎週（土）【4月第1土曜日・休館日・日祝除く】 年間授業数51回 年間出席者数 中学生246人 高校生162人 合計408人 ※夏季講習 8/20（月）・8/21（火）・8/22（水）・8/23（木）・8/24（金）計5回 出席者数 中学生52人 高校生7人 ※冬期講習 12/26（火）・12/27（水）・12/28（木）・1/4（木）計4回 出席者数 中学生66人 高校生11人 終日（午前と午後のどちらも）参加する生徒さんが多く、進路指導や学習計画を、個別に行うことにより個々の学習意欲を高めることができました。夏季講習・冬期講習を開催し、長期の休み中も勉強をする習慣が身に付きました。クリスマス会やお疲れ様会を開催し、交流と親睦を深めました。
生活支援セミナー	奨学金制度説明会	7/1（日）定員30人 参加者19人 （後日資料のみ配布者3人） 内容：日本学生支援機構や大阪府育英会、母子寡婦福祉資金、豊中市奨学金、国の教育ローン、社会福祉協議会の教育資金貸付制度についての説明、質疑応答 講師：豊中市進路選択支援事業 相談員 （社福）豊中市社会福祉協議会貸付相談員 豊中市こども未来部 子育て給付課 貸付担当者
相談	平日 （10：00～16：00）	年間相談件数 面接48件（内父子4件） 電話164件（内父子8件） 合計212件
	弁護士相談	年間相談件数 夜間41件（内父子2件） 土曜日39件 合計80件
	専門相談	年間相談件数 計21件

事業名		事業内容
レクリエーション	母子・父子バスツアー	9/2 (日) 定員120人 行き先：三木平井山「紫玉ぶどう狩り」 アサヒビール工場見学・めんたいパーク 親(母) 54人・大学生1人・中高生12人・小学生以下50人 合計117人参加(うち2人欠席) 今回はバスツアー3台、総勢115人の大人数でのバスツアーとなりました。アサヒビール工場では製造工程の説明を受け見学しました。試飲コーナーで出来立てのビール、サイダーなどを楽しく会話をしながらいただきました。すたみな太郎でのランチは焼き肉やお寿司など好きなものを食べ満腹になりました。子どもたちは自分たちで作れるクレープや綿あめのコーナーに行列を作って楽しそうでした。めんたいパークでは職員さんによる説明を聞き出来立てほやほやの明太子を試食した後、お土産選びや製造工程見学をしました。三木平井山のブドウ園は台風の影響でビニールハウスが倒れるなどの被害があったようですが、紫玉の棚は無事だったので、初秋のブドウ狩りを楽しむことができました。大きくて色の濃いブドウは瑞々しくて甘いのでみんな笑顔になっていました。お腹一杯の今回のバスツアーは、ひとり親家庭同士の交流を図ることができ充実した一日を過ごすことができました。
	キッズイングリッシュ	8/26(日)参加者：親子6組 計12名 開催場所：母子父子福祉センター2階和室 未就学児(3歳から5歳)の親子を対象に、身体を動かすスキンシップを図るなか英語を取り入れ、英語に親しみを覚えることを目的として初めて開催した事業です。 講師とハイタッチをしたり、キャッチボールやダンスを通して顔や身体のパーツの英単語を学び参加者同士の交流を深めました。英語教育についての相談会を行い、どのような教材を使えばいいのかや英語が身につく日常生活の送り方などの質問があり、講師からは日本語と英語は周波数が違うので、日々聞き流すことが効果的だとの答えがありました。
	親子で楽しいクリスマス会	12/16 (日) 定員60人 親23人・こども31人 合計54人参加 今回のクリスマス会は、まず松ぼっくりでツリー作成を始めました。親子で協力しながらデコレーションをし、世界に一つだけのクリスマスツリーが完成しました。次に女性ピエロの「ピエコロ」さんが登場、ジャグリングやバルーン、子どもがすっぽり入るシャボン玉などの参加型のショーに大人も子供も引き込まれました。最後に「ピエコロ」と笑顔で写真撮影をしました。ランチの時間には、ロールケーキにスプレーチョコとこの山でデコレーションをしました。ランチ会の後にサンタさんが登場し、ブーツのお菓子のプレゼントをもらいみんな大喜びでした。同じテーブルの参加者同士で会話が弾み、ひとり親家庭の親子同士の交流を深めることができました。和気あいあいとした楽しいクリスマス会になりました。
貸室	会議室	年間合計 403件/5,266人
	和室	年間合計 309件/2,266人
	会議室・和室 合計	年間合計 712件/7,532人

研 修	母子相談員研修	相談員2人 年7回受講
	人権研修	常勤職員2人 年2回受講
安 全 管 理	消防訓練 講習会 設備点検	消防訓練年1回実施・安全管理合同会議年1回 非常時通報装置使用方法の講習会年1回実施 設備点検（消防・自動ドア・電気・空調）

※センター夏まつり（7/29）は台風12号の影響により残念ながら中止となった。

平成 30 年度 ゆたか保育園事業報告書

1. 基本方針

当園の「保育の内容に関する全体的な計画」にのっとり、

子どもたちの美しい心を育む

健やかなからだを育む

豊かな夢を育てる

を保育理念とし

保護者に安心、信頼していただける園運営を目指し、保育の中で工夫や一人ひとりの子どもの特性を生かし、それを伸ばせるような保育を職員会議やミーティングにおいて職員全員で考え、実践していくようにした。

育児困難を抱える方など保護者の立場に立ち、親切に丁寧に関わりながら、保護者自身の自立への援助も行っていた。

家庭での食生活、生活習慣が子どもたちの心と体をつくり、また保育園生活においても保育・給食・保健が連携し合い、食べること、作ること、体を守ること、自分を大切にすること、命のつながりなど、ゆたか保育園ではそれらのことを保育方針、保育目標として保育を充実させるよう努力し、保護者との信頼関係を築いていくため様々な情報発信を行っていた。

(1) 保育の充実

- ・乳幼児の発達保障のための落ち着いた日常生活を大切にした保育方針をもとに、乳児クラスは、育児担当保育を行い大人との愛着を大切にして、個々に応じた保育を丁寧に行っていき幼児期に繋げていった。また幼児クラスは、乳児期に培った愛着をもとに、自分の事を好きになり、友だちとの関わりも深めていく時期なので、子どもと保育士との信頼関係を十分に築く保育を行っていく。
- ・園の活動や行事の目的を明確にし、実施し、活動の評価を行いながら、子どもたちの成長や満足感を引き出す工夫をし、子どもたちに必要な体験と成長を考えた保育を行い、園と子どもたちで楽しい毎日を積みあげていった。

(2) 保護者への支援

- ・担任、担当保育士を中心に看護師やスマイルサポーターの主任、園長が、いろいろな困難を抱える子どもや保護者に寄り添い、必要に応じて相談にのり、保護者の気持ち安定し、子どもとの生活も安心できるような子育て支援となる保育を行って

きた。

- ・支援児の保護者とは、日々の連絡ノート以外にも最低年3回の個人懇談や随時の個人懇談も行ってきたが、この中でも担任と顔を合わす機会が少ない保護者にあつてはこちらから話す機会を作るようにする。

(3) 地域交流事業

キッズランド・スイトピー（地域交流事業）、保育園行事参加、異年齢交流事業、世代間交流事業に取り組み、地域を含めて親子の育ちを応援する催しの企画運営を行った。

(4) 職員育成

新卒入職する職員、臨時職員、中堅以下の職員、パート職員の保育力、専門性の向上また主任をはじめとしたベテラン職員による後輩育成の流れをつくるようにし、キャリアアップとして研修、公開保育などに参加し自らのスキルアップと共に若手職員への指導につなげた。

また各担当リーダーが主となり、職員同士の意見の交し合いをする機会として、全職員でのワーク・ディスカッションも行った。

(5) 運営の組織化

各会議の定例開催を図り、保育・保健・給食それぞれの課題共有と解決を図り、人事考査、園の定員数、職員数の見直し、運営の充実の検討を重ねていった。

2. 児童定員 定員 50 名

H30 年 4 月 1 日 56 名(弾力化)

年齢児	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1 歳児	0 歳児	合計
クラス名	ゆり組	ばら組	ひまわり組	こすもす組	すみれ組	さくら組	
人数	7 名	11 名	13 名	12 名	9 名	4 名	56 名
内障がい児	0 名	2 名	0 名	0 名	0 名	0 名	2 名

H31 年 3 月 31 日 60 名(弾力化)

年齢児	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1 歳児	0 歳児	合計
クラス名	ゆり組	ばら組	ひまわり組	こすもす組	すみれ組	さくら組	
人数	7 名	11 名	13 名	12 名	10 名	6 名	59 名
内障がい児	0 名	2 名	0 名	0 名	0 名	0 名	2 名

3. 保育園開園時間

午前 7 時 00 分～午後 6 時 30 分

午後 6 時 30 分～午後 7 時 00 分（延長保育）

4. 職員配置（H31 年 3 月）

園長（1） 主任保育士（1） 保育士（10） 時短保育士（1） 看護師（1）

非常勤保育士（2） 朝・夕・土曜日パート保育士（3）

用務（1） 事務（1）・・・21 名

嘱託医[内科・歯科・眼科・耳鼻科]（4）

委託調理師・調理員（3） 委託栄養士（1）

5. 運営方針

（1） ゆたか保育園の運営管理を円滑に行うために次の会議を開催する。

・職員会議 月 1 回 定例会議

・保育会議 月 1 回 定例会議

保育中核リーダー、保育リーダーを中心に議題を職員からすい上げグループワークなども行った。

・障がい児担当者会議 随時

・昼ミーティング 毎日その日の伝達事項の確認を行った。

・アレルギーミーティング 毎日次の日のおやつ・給食のチェックを行った。

・食育会議 月 1 回

マルワの調理師、栄養士、担当者と意見を交換し、安全・安心な食事の充実を図っていった。

・保健会議 月 1 回

保健、衛生に関することを看護師中心に話し合い、知識も高めていった。

感染症報告（突発性発疹・ヘルパンギーナ・水痘・感染性胃腸炎・マイコプラズマ肺炎・インフルエンザ、アタマジラミ）

保護者・担任・看護師・調理師によるアレルギー面談（月 1 回）を行い、変わった事などがあれば食育会議、保健会議で伝えた。

エピペンの使用講習については、新職員に実施した。

・クラスミーティング、乳児会議、幼児会議 月 1 回及び随時

より良い保育を行うため、保育の内容や行事について話し合いを行い、保育士の共通認識とした。

・運営委員会 年 2 回

・施設会議 月 1 回 定例会議

・苦情解決委員会 今年度は、苦情解決委員に報告する苦情はなかった。

- ・園内人事委員会 随時

(2) 各種係を設置し職員全員が分担し運営する。

・行事係

- *プール開き *七夕の集い *ふれあいカーニバル (運動会)
- *みんなであそぼう *もちつき大会 *お楽しみ会 *お正月遊びを楽しもう
- *生活発表会 *修了式 *誕生会

・地域支援

キッズランド・スイトピー

園行事や親子で楽しめる行事への参加・世代間交流事業・異年齢交流事業
(年間行事報告参照)

- ・避難訓練・消火訓練を月 1 回実施した

- ・保育士の業務効率化を図る

ICT (保育管理システム) を使った指導案の作成は、職員もパソコンの入力に慣れてきて、昨年度よりスムーズに行えるようになったが、インターネット環境が悪い時には支障がある。

延長保育計算、請求も ICT (登降園管理システム) を使用した。

6. 保育方針 (新保育所保育指針 平成 29 年 3 月 31 日告示)

(1) 基本方針

- ・保育はクラス別基本方針にのっとり、安心安全で楽しく、成長促進となる保育園生活を営む。
- ・最低基準を遵守し、園児の安定を大切にする。
- ・全体的な計画の保育理念「子どもたちの美しい心を育む・健やかなからだを育む・豊かな夢を育てる」を実現するために年間・月間・個人カリキュラム・週日案等の中で園児の為に評価・反省・課題を出しながら日々の保育の大切さをいつも心にとめ、より良い保育の実現を目指す。

クラス別保育方針は次の通り

- 0 歳児クラス：発達の特徴と違いを踏まえ、愛情豊かに応答的な関わりの中で (8 か月から) 信頼関係を築き、人と関わる力の基盤を培える保育を工夫し愛着関係を築くことができた。

- 1 歳児クラス：保育者等の愛情豊かな受容の下、個々にあわせて休息・食事・排泄・午睡等安心できる生活リズムを作っていた。
自分でしようとする気持ちを大切に、できた時には十分褒めて認めていき、応答的な触れ合いや言葉がけによって欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことが出来た。
また戸外にもたくさん出かけ心身ともに成長することが出来た。
- 2 歳児クラス：日々同じ日課で過ごす中で、子どもたちの自発的な活動を尊重し、保育者の前向きな言葉がけや見守りで自信ややる気に繋がった。
自己を認められる中で友だちへの意識が芽生え、一緒に何かしたい、一緒に遊ぶと楽しいという育ちに繋がった。
- 3 歳児クラス：乳児クラスから幼児クラスに進級し、日課を変えず過ごしてきたが、集団で生活したり友だちと関わっていく中で、言葉がうまく伝わらずつねったり、噛んだりするトラブルもあったが、一人一人に向き合っていく事で、情緒も落ち着いてきた。
12月より 4・5 歳児と合同で過ごすことも増え、生活も遊びも異年齢でのかかわりの中刺激も受け成長してきた。
- 4 歳児クラス：生活ボードで 1 日の流れを知らせる事で、子どもたちも自ら考えて行動することができ自信に繋がっていった。
保育者の仲介のもと、少しづつではあるが、友だちに自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気づき聴いたりできるようになった。
- 5 歳児クラス：異年齢活動の中で、同年齢や年下の子との関わりを通して自己の思いを押し通すだけでなく相手の思いに気づくことが出来るようになった。良いことと悪いことがあることに気づき、自然事象、文化や伝統に興味を持ち、ゆたかな感情、思考力、表現力の基盤が培われるような保育を行った。得意不得意があり、友だちを助けたり、応援したりする姿も見られた。

(2) 給食 (株) マルワに委託する

委託業者との連携を密に行い、安心安全、楽しい食と情報の提供と健康を守る給食管理を行った。

- ・安心安全の食材の調達と衛生管理、独自の給食献立による食事の提供をし、おやつなどの新メニューの検討も依頼していった。

- ・離乳食も調理師と食材の硬さや味付けを検討、確認しながら進めた。
- ・アレルギー除去食、可能な範囲での代替食の実施を医師の診断書、指示書により月1回保護者とアレルギーチェックを行い、保育士、看護師、調理員と連携のもと誤食の事故防止を図っていった。
- 前日 アレルギーミーティング（保育士・看護師・調理師）
- 当日 調理師同士の声掛けチェック、保育士が調理室に貰いに行く時にチェック表を持参し調理師との食札と言葉でのチェックを行った。
- 保育室での配膳時の配膳台は、普通食と別の棚に置き保育士同士での声掛けを行っていった。
- ・温かいメニューは、温かく提供できるようにできる範囲での工夫を依頼していった。
- ・保護者への情報提供として給食だよりの発行や平均給与栄養量の掲示をした。

(3) 保健

- きめ細やかに保護者と子どもの健康状態の情報交換を行い、感染症拡大抑止のための情報提供や、健康相談などを行った。
- ・発育測定 毎月1回
- ・内科健診 乳児年4回 幼児年2回
- ・歯科検診 年1回 （歯科医師による歯ブラシ指導含む）
- ・眼科検診・視力検査（10月） 幼児年1回
- ・耳鼻科検診 幼児年1回
- ・尿検査 5・4歳児 年1回
- ・職員検便 毎月1回
- ・光化学スモッグ、黄砂、PM2.5の情報公開
- ・けが防止ヒヤリハット活動の充実
- ・健康なからだ作りのために各クラスに対して、看護師による手洗い・トイレ指導を行った。
- ・玩具の消毒や空気の入れ替えもこまめに行う。
- ・今年度は、外気温が異常に高く35度以上の日には、戸外に出ることが出来なかった。

(4) 環境整備

- ・園庭整備（猫の糞や危険物の点検と掃除を毎朝行った）草むしり（随時）
- ・側溝の掃除、園庭側溝の砂さらい（6/2（土）の保育参観終了後全職員で溝掃除を行った）

- ・土のうの点検

台風、大雨時には、土のうを玄関や門扉裏、裏門に置いた

- ・各クラス子どもたちの成長に合わせて生活しやすいように保育室のコーナー等の整備を行った。(随時)

- ・空調機について

①6月18日(月)の大阪府北部地震により、保育園舎(母子父子福祉センター)には被害はないが空調機が故障した。豊中市に修理依頼し6月28日(金)修理が完了した。

②9月7日(金)の大雨の影響で空調機が故障した。窓を開けて風通しを良くしたり、扇風機の台数を増やしたり、午睡時は接触冷感パットを敷き布団の上に敷いて対応した。9月26日(水)修理が完了した。

③1月5日(土)空調機が故障した。ファンヒーターを購入して保育室で使用する。1月7日(月)修理が完了した。

④全館空調機の故障が多くなってきたので、各保育室にエアコンを設定した。

- ・ブロック塀について

①7月7日(土)、13日(金)豊中市が玄関スロープ駐車場側ブロック塀補強工事をした。

②3月30日(土)隣家のブロック倒壊時対策として、園児がブロック塀に近づかないように園庭にフェンスを設置した。

7. 防災・防犯・安全管理

- ・毎月1回 防災または防犯訓練を実施した。担当者は毎月変わり、火災・地震・浸水・不審者侵入を想定して避難した。紙芝居等での指導も行った。

- ・消火器の使い方の把握や再確認のため毎月職員が消火訓練を行った

- ・緊急災害時連絡方法として、連絡一斉配信システム『Jモバイル』を導入した。今年度は、2月25日にテスト配信を行った。

- ・緊急時の通信手段として、「NTT 災害伝言ダイヤル 171」を保護者に知らせ保育園から伝言を録音して聞いてもらう体験を行った。(9/1・9/5・1/15・1/19)

- ・毎月末安全点検(各クラス、施設全体)を行い危険個所がないか点検すると共に日々の環境整備も心掛けた。

- ・ヒヤリハット報告(35件)

機械室にたばこの箱が落ちていた、保育室の棚で手をすりむく、登り棒から落ちる、友だちを噛む、ままごと用の毛糸を首に巻く、洗濯機の中に待ち針があった、事務所の床にボタン、ヘアピンが落ちていた、子どものロッカーの上に石をおいたまま、口の中にゴムの破片を入れていた

- ・事故報告(2件)

友だちの持っていた木製人形が、左目尻に当たり傷になる。眼球には異常なし
リュックサックのファスナーが歯に挟まり取れなくなる

- ・地域(中桜塚自治会)、母子父子福祉センター、自治会と連携し総合避難訓練を行い防災意識を高めた。

(11/13 (火) 豊中市北消防署の職員の方に来てもらい通報訓練、避難訓練、消火訓練を行った。ミニ消防車も来て、子どもたちも見学した。)

8. 実習生・中学生職業体験の受け入れ

豊中市第三中 2 年生	2 名	職場体験 (CAL) 受入れ	(3 日間)
芦屋学園短期大学 2 年生	1 名	実習生受入れ	(10 日間)
豊中市第一中 2 年生	2 名	職場体験 (CAL) 受入れ	(3 日間)

9. 職員育成と研修計画

- ・関係機関(豊中市、保健所、大阪府社会福祉協議会、一般財団法人豊中こども財団、ちゃいるどネット)の研修に参加した。
- ・乳幼児保育、障がい児保育、虐待、衛生管理、安全管理、指導計画、遊び、造形、感染症、保護者支援、人権、社会貢献について様々な研修に述べ 67 回参加し会議で報告し、資料を回覧し実践につなげていった。
- ・キャリアアップ研修として「幼児教育分野」「マネジメント分野」を受講した。
- ・全職員参加で「話しやすい人ってどんな人」という内容で、グループワークを行い、職員同士のコミュニケーション力を高めることができた。
- ・保育目標について、グループワークで話し合いの機会を設け理解を深めることができた。
- ・ICT 化に伴いパソコンの得意な職員がそうでない職員に指導していくことにより、少しずつ活用できるようになった。
- ・保育園に送られてくる研修の情報を職員に知らせ、自主研修も推奨した。
- ・幼稚園免許更新講習を 7、8 月に 4 名の職員が受講し修了した。
- ・園内ビヤリングで、自己の保育、働き方を振り返った。
- ・小学校への円滑な接続に向け、園児と児童の交流を通じて小学校生活に安心感と期待感が、感じられるように学びの連携をおこなった。
- ・園内研修として消防署員来ていただき、乳幼児予防救急講習を受けて、安全への知識を深めた。

10. 子育て支援事業

- ・保育園の職員の専門性を活かすマイルサポーターや主任、看護師が子育てや

食事の相談を受けた。

スマイルサポーター 4名在園

・キッズランド・スイトピー（年9回）

11. 地域に必要とされる福祉活動を実践し、発信できる保育園作り

- ・社会福祉法人の地域貢献事業としてホームページで、地域の親子に対しての子育て、子育ての相談も含め、共に育つことへの喜びを分かち合えるように園で行われる行事や地域交流をより広く発信した。

自治会や老人会との交流（ふれあいカーニバル、消防訓練、桜塚公園掃除、寿会新年互例会等）をすることができ、ゆたか保育園の存在を知ってもらい子どもたちの成長を一緒に見守ってもらえる関係を作っていった。

また今年度は、週2回桜塚公園でグランドゴルフをしている方々と一緒にラジオ体操を行った。そのつながりから修了式にも参列してもらった。

中学生職場体験では、「地域の子どもは地域で育てる」という理念をもとに働くことの厳しさや喜びを伝えることができた。

平成 30年度 年間行事報告

社会福祉法人 豊中市母子寡婦福祉会
ゆたか保育園

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

月	日	事業名	事業内容
4	1	入園・進級を祝う会	新入・在園全ての親子で入園進級を祝った
5	8	バス遠足 (5・4歳児)	中型バスで万博記念公園へ 自然に触れ身体を動かし楽しむ
	15	クラス懇談会3・4歳児クラス 18:00~19:00	子どもの家庭での様子や悩み事を話し合ったり、入園進級後の子どもたちの様子を伝え、今後の取り組みなども伝えた
	22	クラス懇談会0・5歳児クラス 18:00~19:00	
	30	クラス懇談会1・2歳児クラス 18:00~19:00	
	28~6/7	実習生受入れ	芦屋学園短期大学 1名
	29	スイトピー(地域交流事業)	おはなし会・ふれあい遊び 申込者0名の為実施せず
6	2	保育参観	幼児は、親子で大塚公園へ 乳児は親子で触れ合いあそびをして楽しんだ
	6	尿検査	4・5歳児が検査を行った
	11	幼児おにぎり遠足 (4・3歳児)	ふれあい広場へ行って遊具で楽しく遊んだ
	13	乳児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行う
	18~29	個人懇談週	家庭での様子や悩み事、保育園での様子等を話し合った
	20	スイトピー(地域交流事業)	6/18地震発生の為中止
	21	歯科検診(全クラス) 歯磨き指導(幼児)	嘱託歯科医 小原歯科 中西Drにより行う
	29	プール開き	プールでの約束事を守りながら楽しく遊んだ
7	5	耳鼻科検診 (3・4・5歳児)	嘱託耳鼻科医 こうづきDrにより行う
	6	七夕の集い	笹飾りを作ったり、短冊に保護者と願いを書き笹に飾った
	13	お泊り頑張っね会	お泊り保育をする5歳児の為に激励会を行った
	14・15	5歳児お泊り保育	保育園で宿泊した
	20	幼児おにぎり遠足 (3・4・5歳児)	外気温が高かった為、室内で過ごす。
	25	スイトピー(地域交流事業)	泥んこ遊び 高温の為中止
	29	センター夏祭り	台風接近のため中止
8	5	豊中まつり	豊島公園でゆり組が和太鼓演奏を披露した
		プール開放 7・8月 (地域交流事業)	火・木11:00~11:30 高温の日が続き参加者なし
9	8	ゆたか祭り(保護者主催)	台風の影響で倒木などがあり中止
	11	全児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行う
	12	敬老の集い(世代間交流事業)	地域の高齢者を招き、歌を披露したり、お手玉、けん玉、折り紙等一緒に遊んだ
10	7	ふれあいカーニバル(世代間交流事業)	桜塚公園にて地域、高齢者と運動会を楽しんだ 乳幼児18名 小学生16名 高齢者21名の参加
	24	スイトピー(地域交流事業)	体操の先生と一緒に遊ぼう 5組の親子の参加
	24	芋掘り遠足(メディカルホームくらら桃山台ベネッセの畑)	阪急バスを利用し4・5歳児が芋掘り体験をした
	25	眼科検診・視力検査(幼児クラス)	嘱託眼科医 高島Drにより行う
	30~11/1	職場体験学習(CAL)受け入れ	豊中市立第三中学校生2名が園児と一緒に遊び、保育士の仕事を体験した。

11	6	スイトピー(地域交流事業)	足育で靴選びの重要性等の話を聞いた 6組の親子の参加
	6	バス遠足 (5・4・3歳児)	大型バスでキッズ・プラザに行き遊んだ
	12・14・16・19	保育参観週間	都合の良い日に保育の様子を参観してもらった
	8	いっしょにつくってあそぼう (南桜塚小)	くるくるコプター・紙コップ空気砲を作り小学生と一緒に遊んだ
	9	うたあそび・おとあそびライブ	さわむらしげはるさんのコンサートを楽しんだ
	13～15	職場体験学習(CAL)受け入れ	豊中市立第一中学校生2名が園児と一緒に遊び、保育士の仕事を体験した
	27	みんなで作ろう	段ボールの家に各クラス果物を作り貼り中に入って遊ぶ。 幼児クラスは、紙コップロケットを作ってあそぶ。
12	13	総合避難訓練 (母子父子福祉センター・中桜塚自治会合同)	火事を想定し桜塚公園に避難、消防職員に来てもらいお話を聞いたり、ミニ消防車をみたりして防災に対する意識を高めた
	3～14	個人懇談週間	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子等を話し合ったり、成長を喜びあった
	5	もちつき大会	保護者や老人会の方と一緒に餅つきを楽しんだ。(マルワにつき手依頼)
	13	乳児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行う
	26	お楽しみ会	サンタさんからプレゼントをもらった
1	26	スイトピー(地域交流事業)	いちご劇場の劇を楽しんだ 6組の親子の参加
	6	桜塚寿会の新年互礼会	5歳児が福祉会館で和太鼓を披露した
	9	お正月遊びを楽しもう	伝統的な遊びや獅子舞の舞いを見て楽しんだ
	9	スイトピー(地域交流事業)	お正月遊びを楽しもう 当日キャンセルが入り参加者なし
2	16	美化清掃活動(4・5歳児)	豊中市環境部の職員の指導の下、桜塚公園の掃除をする。
	2	生活発表会(3・4・5歳児)	歌・劇・和太鼓等を通し成長した姿を見てもらった
	6	おにぎり遠足(3・4・5歳児)	大型バスでキッズプラザに行き、ごっこ遊びを楽しんだ
	6	スイトピー(地域交流事業)	ベビーマッサージ 4組の親子の参加
	6	クラス懇談会 (1・2歳児クラス 18:00～19:00)	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、皆で成長を喜びあった
	8	入学体験(緑地小学校)	5歳児が小学校に期待できるよう体験した
	13	クラス懇談会 (0歳児クラス 18:00～19:00)	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、皆で成長を喜びあった
	15	入学体験(南桜塚小学校)	5歳児が小学校に期待できるよう体験した
	19	クラス懇談会 (3・4歳児クラス 18:00～19:00)	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、皆で成長を喜びあった
3	22	入学体験(桜塚小学校)	5歳児が小学校に期待できるよう体験した
	5	お別れ遠足	5歳児が電車に乗ってキッズ・プラザに行った
	5	スイトピー(地域交流事業)	体操の先生と一緒に遊ぼう 5組の親子の参加
	6	新入児入園説明会	新入園児に説明を行った
	19	お別れ会	卒園する5歳児に在園児よりプレゼントを渡したり、お祝いをした 乳児クラスは、5歳児と一緒に遊んだ
	13	継続児・新入児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより 継続児・新入児の健診を行った
	25	修了式	修了した喜びを全員で分かち合える式となった
	27	わかば保育園(4歳児)との交流	桜塚公園で一緒に遊ぶ
		園庭開放 11組の親子の参加	

年間を通して毎月の行事

お誕生会(毎月第3火曜日)給食は誕生会メニュー

発育測定(身長・体重・胸囲)、避難訓練、消火訓練、防犯訓練(危機管理による)、安全点検

衛生検査(頭シラミ、手足の爪などの検査)

4・5歳児・・・月一回和太鼓の稽古

3・4・5歳児・・・月二回体操教室

ラジオ体操(月・金)

園庭開放(月～金) 絵本貸出(第1・3金曜日)

その他個人懇談、育児相談は随時

平成 30 年度 わかば保育園事業報告書

1. 基本方針

当園の「保育の内容に関する全体的な計画」にのっとり、

子どもたちの美しい心を育む

健やかなからだを育む

豊かな夢を育てる

を保育理念とし

保護者に安心、信頼していただける園運営を目指す。保育の中で工夫や一人ひとり
の子どもの特性を生かし、それを伸ばせるような保育を職員全員で考え、実践して
いくようにする。

多様な保護者に安心していただけるように支援にも努力し、継続の家庭はもちろん
外国籍の方、育児困難を抱える方など保護者の立場に立ち、親切に、丁寧に関わり
安心しあえる関係を築いていく。

家庭での食生活、生活習慣が子どもたちの心と体をつくり、また保育園生活におい
ても保育・給食・保健が連携し合い、食べること、作ること、体を守ること、自分
を大切にすること、命のつながりなど、わかば保育園ではそのことを保育方針、保
育目標として保育を充実させるよう努力し、保護者との信頼関係を築いていく。

この基本方針を平成 30 年度の一年間実践できるように努力、研鑽を行った。

(1) 保育の充実

- ・平成 29 年度増築により、元事務所を多目的室とし、フリー業務や懇談に利用す
るとともに、4、5 月の 0 歳児はまだ午睡が安定していないので、早くおきた子
どもを保育する部屋として活用することができた。
- ・2F 元 0 歳児保育室を職員休憩室とし、休憩をしっかりと取り、次の保育への切り
替えをすることができた。
- ・新しい園舎の保育室は明るく 1F・2F とも園庭や空を見ることができ、視界が広
がるのが嬉しい。1F 保育室・トイレ・事務所・玄関周辺は地中蓄熱サーマ・ス
ラブにより、冬でも空間、床も暖かく空調の使用を少なくし、乾燥を防ぐことが
できた。
- ・以前の園庭では体を充分に動かすことができず、三輪車や様々の遊びで体幹の
弱さが多くみられ、ちょっとした動きで転倒、転倒の際に顔や歯の打撲が多かつ
たので、日々の生活で体を柔軟に使えるように広くなった園庭で普段の運動遊び
の取り組みで子どもたちの体力・運動能力の向上を目指した。

また、園庭での野菜（小松菜・ラディッシュ・ブロッコリー・かぶ・いちご・さつま芋）収穫、植樹したレモンの木からはたくさんのレモンの実を探ることができ、給食に用いたり幼児クラスでジュースを作ることができ、食育活動を充実させることができた。

- ・体操教室では、乳児の体幹を鍛える・幼児のしなやかな体作りができるように保育で取り入れやすい運動を保育士も学び、教室以外の保育で習慣として行うようにした。
- ・音楽教室ではリズム、歌唱法、音符の学びにより、園内で行ったわかばっこ発表会では堂々とした歌声を披露することができた。これからの保育や発表会で、楽器演奏や合唱をわかば保育園の特色としていきたい。

- ・0歳児の愛着を大切にした保育、体幹を鍛え歩行や運動能力の向上するための基盤作りをし、危ないことへの見守りをしながら止めてしまうのではなく、経験を通して学べるよう配慮した。
- ・1歳児は今年度20名と多い定員で、どのような保育をするかを職員と常に考え、園児の成長に合わせたコーナー作りをしたり、自分が好きな遊びを選び、遊び込めるような環境作りを図った。
- ・2歳児は加配児童を含めて友だちを意識し、遊びも楽しめるようコーナーの配置を変えたりして、落ち着いた日々を送ることができた。
- ・3歳児は4歳児と同じ新園舎の2F保育室で過ごし、合同で保育することもあり異年齢の子ども同士の色々な経験で、友だちや大人への思いやりも育ったと思う。
- ・4歳児は6名と少ない人数となったが、きめ細やかな保育で、ゆたか保育園へ電車に乗って遠足、近くの保育園同士の交流等園外でもさまざまな経験をし、自分でできることを増やし、周りのことに目を向けられる、より一層生き生きと活動できることを目指している。また、リトミックを取り入れ体作りを図った。次年度には年長クラス以外にもリトミックの取り入れにより、園全体の体作りができるようにしたい。

（2）保護者への支援

- ・保護者対応としては、疾病を抱えながらも日常を頑張って生活しようとしている姿を見守り、子どもに何か変化が見られた場合、家庭とやり取りしながら、心地良く過ごせるように配慮してきた。子どもの休みが続くような時は園から必ず連絡を入れ、必要があれば市役所とのやり取りを交えながらの見守りを行ってきた。
- ・園、家庭で子どもの発達が気になるときは、加配児の市からの巡回の際に合わせて関わり方等を相談し、保護者が加配を要望された場合は市と連携し、保育観察

を受けるに至った。(2歳児1名)

- ・保護者の就労状況で送迎が変わる場合、また、土曜日保育の必要となる場合は事由証明・シフト(メモ等可)の提出をしてもらい、連絡先の確認、送迎時間の確認をして連絡が取れないような事のないようにした。

(3)地域交流事業

わくわくサークルで公演(さわむらしげはる音楽団・シャボン玉・ピアノアンサンブルコンサート)、クッキング等を実施し、親子で楽しめるひと時となった。誕生会に参加された方々には、職員の出し物、誕生絵本の贈呈で喜ばれた。園全体の保育環境として、清潔で整理整頓された保育園を常に心がけ、在園児や保護者はもとより見学者、地域サークル来園者に不快な思いを与えないようにした。

(4)職員育成

- ・キャリアアップ研修を通じて、今までの各自の保育を見直し、日々の保育への気づきと振り返りを重ね、また、保育会議等でそのことを出し合い、より良い保育と環境を整えていった。
- ・H31.2/21 公開保育を行い、日々の保育の中での保育者としての葛藤・悩み等も事前に出し、当日の全体会交流で意見交換できたことは大変勉強になり、これからの保育に生かせる一日となった。
- ・年間カリキュラム等を見直し、業務軽減をはかるため、また保育への思いを文章化する能力をICT化の取入れを活用し向上できるようにした。

(5) 運営の組織化

運営委員会の定例開催を図り、保育・保健・給食それぞれの課題共有と解決を図り、人事考査、園の定員数、職員数の見直し、運営の充実の検討を重ねていった。

2. 児童定員 60名

H30年4月1日 時点

年齢児	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ゆり	ばら	ひまわり	こすもす	すみれ	さくら	
認可定員	11	11	11	11	10	6	60
弾力化数	0	7	13	14	20	6	60
内障がい児	0	0	0	1	0	0	1

H31年3月31日 時点

年齢児	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ゆり	ばら	ひまわり	こすもす	すみれ	さくら	
認可定員	11	11	11	11	10	6	60
弾力化数	0	6	13	15	19	6	59
内障がい児	0	0	0	1	0	0	1

3. 保育園開所時間

午前7時00分～午後6時30分

午後6時30分～午後7時00分（延長保育）

4. 職員配置

園長（1）主任保育士（1）常勤保育士（11）非常勤保育士6h～7h（6）

看護師（1）朝・夕パート（2）用務（2）・・・24名

嘱託医【内科・歯科・耳鼻科・眼科】（4）委託調理師・調理員（3）委託栄養士（1）

5. 運営方針

（1）わかば保育園の運営管理を円滑に行うために次の会議を開催した。

- ・職員会議 月1回 定例会議
- ・保育会議 月1回 定例会議
- ・部署会議 各月1回 食育会議・アレルギー会議・リーダー会議
フリー会議（随時）・保健会議（随時）
- ・運営会議 年2回
- ・施設会議 月1回 定例会議
- ・苦情解決委員会 必要があれば随時 報告会年1回
- ・園内人事委員会 随時

（2）各種係を設置し職員全員が分担し運営した。

・行事係

*ファミリーフェスティバル（運動会） *プール開き、終い

*七夕の集い *わかば祭り *ハロウィーンパーティー

*作品展 *わかばっこ発表会 *お楽しみ会 *伝承遊び

*入園・進級を祝う会 *誕生会

・地域支援

わくわくサークル（親子でお芋クッキング・ミニ運動会・公演

ベビーマッサージ)

園行事に参加 園庭開放(週2回) 世代間交流事業・異年齢交流事業

・親睦会係

歓送迎会、法人全体交流会、忘年会、新年会

・訓練実施計画と実行(毎月1回の避難訓練・消火訓練・防犯訓練)

(3) ICT化による指導案作成や、延長保育料計算・請求等の効率化を図った。

6. 保育方針

(1) 基本方針 (新保育所保育指針 H29.3.31 告示)

- ・保育はクラス別基本方針にのっとり、安全安心で楽しく、成長促進となる保育園生活を営む
- ・最低基準を順守し、園児の安定を大切にする
- ・全体的な計画の保育理念「子供たちの美しい心を育む・健やかなからだを育む・豊かな夢を育てる」を実現するために年間、月間、個人カリキュラム、日誌等の中で園児のために評価・反省・課題を出しながら、日々の保育の大切さをいつも心にとめ、より良い保育の実現を目指す。
- ・小学校との連携をとるため幼保小連絡会に参加し、保育所児童保育要録の送付(年長児全員)、就学支援シートの作成(保護者より要請ある時)をする。

クラス別保育方針は次の通り

- 0歳児クラス: 発達の特徴と違いを踏まえ、愛情豊かに応答的な関わりの下で(8か月から)信頼関係を築き、人と関わる力の基盤を培える保育を工夫する。
生理的・心理的欲求を満たし、食の基盤となる時期での食べる喜びや楽しさを味わい、養護における生命の保持、情緒の安定を図る。
- 1歳児クラス: 保育士等の愛情豊かな受容の下で全身を使う遊びと休息、食事・排泄・午睡等安心できる生活のリズムをつくり、自分でしようとする気持ちを持てるようにし、応答的な触れ合いや言葉がけによって欲求が満たされ、安定感をもって過ごす。
- 2歳児クラス: 子どもが自分の感情や気持ちに気づき、自発的な活動ができるように見守り尊重する言葉がけをする。友だちの存在を認め、言葉に対する感覚や表現する力を養い、安全な生活に必要な習慣や

態度を身に付け、見通しを持って行動できるようにする。

○ 3 歳児クラス：基本的生活習慣を身に付け明るく伸び伸びと行動し、体を十分に動かし、食べ物への興味や関心をもち、自分以外の人と親しみ、関わりを深め、協力して一緒に生活する楽しさを味わえるようにする。

○ 4 歳児クラス：生活の中で自分で出来ることに喜びを持ちながら、友だちに自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気づき聴いたりできるようになる。色々な活動や自然の事象に好奇心や探究心を持ち、保育者や友だちと一緒に関わりを深めることができるようにする。

○ 5 歳児クラス：自分以外の人々と親しみ、生活を楽しみ、自分の力で見通しを持って考えながら行動できるようにする。良いことや悪いことがあることに気づき、自然の事象、文化や伝統に興味を持ち、豊かな感情、思考力、表現力の基礎が培われるような保育をする。

これらの方針に基づき、日々の保育の充実を図り、保護者にも理解しやすいようクラス便り等で文章化、見える化で発信できるように工夫した。

(2) 給食 (株) マルワに委託する

マルワと安心安全、楽しい食と情報の提供と健康を守る衛生、給食管理を行うよう食育会議や随時疑問点など伝達するようにした。

- ・アレルギー児のアレルゲン内容の変化や緩和によりアレルギーチェックを再度行い、マルワと献立上の確認、食材、調味料、市販菓子の裏表示のコピー成分表を確認する。各クラスのアレルギーボードは前日に必ず記入し、厨房と口頭でやり取りしそれを基に配膳直前まで複数の職員でチェックし、誤食の事故に至らないようにした。(毎月給食日より配布)
アレルギー児用食器(ピンク色)を用い、おかわりの際の誤食もないようにつとめた。

(3) 保健

きめ細やかに保護者と子どもの健康状態の情報交換を行い、感染症拡大抑止のための情報提供や(園内掲示)、健康相談などを行った。

- ・発育測定 毎月 1 回 5・4・3 歳児視力検査(10 月)

- ・内科健診 乳児年 4 回 幼児年 2 回 歯科検診 年 1 回
耳鼻科検診 幼児年 1 回 眼科検診 幼児年 1 回
- ・尿検査 5・4 歳児 年 1 回
- ・職員検便 毎月 1 回
- ・光化学スモッグ、黄砂、PM2.5 の情報公開
- ・けが防止ひやりハット活動の充実

健康なからだ作りのために各クラスに対して、看護師による健康に関する教育指導も行った。(手洗い・うがい指導、歯磨き指導、からだの作りを知る指導)

(4) 環境整備

- ・台風 21 号により、フェンス傾き、北側門扉歪みが生じたため取り替えた。
プール日よけ、電車線路からの異物がとんでこないよう幕設置をした。
- ・側溝の掃除、園庭側溝の砂さらい、ネコよけ対策、植栽剪定、除草、古い書類の整理、保管、廃棄をした。
- ・園庭デッキ側に雨水が溜まるため、側溝を設置した。それにより前日の雨が残ることがなくなり、外遊びがしやすくなった。
- ・新園舎 2 階トイレに幼児用便器・ブースを設置し、乳幼児対応型にした。
- ・空調のクリーニングをして、園児・保育者・保護者へ健康被害がないようにした。
- ・園内の整理整頓、絵本・遊具の管理と見直し、園庭遊具の点検をした。

7. 防災・防犯・安全管理

- ・毎月 1 回 防災訓練の実施(消火器の位置・初期消火の手順を必ず行う)
消火訓練(水消火器)の実施・安全点検(各クラス、施設全体)
- ・防災管理マニュアルの見直し(震災時、風水害時)と保護者への連絡手段として新しく連絡一斉配信システム「Jモバイル」で発信できるようにした。
- ・園内での事故報告として、体の使い方・体幹がまだ鍛えられていないため、園庭での転倒、転倒による歯や顔の打撲が多かった。足の上に遊具を落とすケガなどもあり、保育環境と運動能力を向上できるよう今後も改善を目指す。
- ・防災備蓄品の再点検と充実を図った。
- ・地域と連携し総合防災訓練を行った。(消防署員参加も有)
- ・年 2 回以上の消防計画、報告を行った。
- ・年数回の防犯訓練を実施し、防犯マニュアルを作成し、さらに安全への周知を図った。

8. 実習生・中学生職業体験の受け入れ

日本メディカル専門学校より 1 名実習生を受け入れた。

9. 職員育成と研修

- ・公開保育、民間連合研修会、園内研修などに参加し自己の保育を振り返り、視野を広げて保育の充実と日常の保育での気づきにより保育士としての資質を向上するようにした。
- ・幼稚園免許更新講習 3 名完了
幼稚園免許取得者 2 名
- ・関係機関（豊中市、保健所、保育幼稚園室、社会福祉法人）の研修に参加した。
- ・自己の保育を知り、自主研修も奨励した。
- ・他園との交流、見学などを実施して視野を広げるようにした。
- ・園内ヒヤリング・研修を行い（衛生推進者によるストレスチェック）自己の健康充実を図った。
- ・処遇改善Ⅱのキャリアアップ研修を受講し、リーダーとしての資質向上と職員育成の助力ができるようにした。
- ・短時間勤務の職員が園内業務や保育、関係機関の新しい情報を周知できるよう連絡ノートだけでなくミーティングを随時行うようにし、フリー保育士のミーティングも行って各クラスへのフォローがスムーズにできるようにした。
- ・12 月の民間保育連合園長研修会「乳児保育の基本」：井桁容子先生の講演内容を 3 回に分けて園内研修として各担任と考察・振り返りを行い、毎日の保育に反映できるようにした。

10. 子育て支援事業

- ・スマイルサポーター 4 名在籍・・・園庭開放の利用・見学で、子育ての相談や入園の相談をうけた。
- ・わくわくサークル（未就園児対象）・・・年間 11 回の活動を通して園児との交流、誕生日会参加、地域総合避難訓練参加、園の行事にも参加して頂き、親子でクッキング・観劇等実施した。

11. 地域に必要とされる福祉活動を実践し発信できる保育園作り

- * 増定員と受け入れ年齢変更により、働く親の生活安定や子どもたちが活動的で生き生きと就学前まで過ごせる保育園生活を目指し、新しく増築した園舎で地域交流を今まで以上に行い（わくわくサークル、園庭開放、地域貢献の充実）、子どもたちがいろいろな希望を持ち、豊かな心と健やかなからだを

育むために保育園全体で考え実現できるように努力した。

- * 就職フェア参加により、園見学など受け入れるようにしたが入職には至らなかった。
- * 運動会は 5/26 に豊中市障がい福祉センターひまわりにて行い、わかばっこ発表会は園内で、乳児は参加型、幼児は発表会形式で行って保護者からは乳児の無理のない形式で、なおかつ保護者参加型で日常の姿を見ることができ、幼児は保育室で行ったことで子どもを真近に見ることができ良かったという意見が多かった。

平成 30年度 年間行事報告

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

月	日	行 事 名	行 事 内 容
4	2日	入園・進級を祝う会	園児 職員
		新入児慣らし保育	0歳児・・・6名 園 長・・・1名
	2日	クラス懇談会 (0歳児クラス) 新年度が始まり	1歳児・・・20名 主任保育士・・・1名
	3日	クラス懇談会 (1歳児クラス) 自己紹介や	2歳児・・・15名 保育士・・・17名
	4日	クラス懇談会 (2歳児クラス) 一年を通して	3歳児・・・13名 朝夕パート・・・2名
	5日	クラス懇談会 (3歳児クラス) 取り組みたいこと	4歳児・・・6名 パート看護師・・・1名
	6日	クラス懇談会 (4歳児クラス) などを話し合った	計 60名 用務・・・2名
	19日	避難訓練 (地震)	嘱託医・・・4名 計24名
5			委託調理員・・・3名
			委託栄養士・・・1名
	9日	避難訓練 (火災)	午睡中の火災を想定し避難経路など確認した
	10日	夢の鳥保育園との交流 (4歳児)	夢の鳥保育園へ出かけて行き、しっぽ取りなどをして交流を楽しんだ
	17日	歯科検診 (全児)	嘱託医 (五條歯科 清水医師)
	26日	ファミリーフェスティバル (運動会)	障害福祉センターひまわり体育館にて身体を動かす遊びを保護者や地域の方と共に楽しんだ
6	29日	歯磨き指導 (3, 4歳児クラス)	看護師による指導
		個人懇談会 (5/21～5/25 0歳児)	午睡時間やお迎えの時間を利用して園でのようすを伝えたり家庭での様子を聞いたりした
		(6/11～6/15 1歳児) (5/28～6/1 2歳児)	
		(6/18～6/22 3歳児) (6/4～6/8 4歳児)	
	4日	乳児内科健康診断 (0・1・2歳児クラス)	嘱託内科医 (明石医院・明石先生)
	7日	防犯訓練 (連れ去り)	「いかのおすし」の紙芝居を見て防犯の話聞いた
7	13日	避難訓練 (火災)	給食室からの出火を想定し稲津町1丁目広場に避難した
	14日	わくわくサークル	地域の親子の方々とダンシングサンドを使って遊んだ
	22日	耳鼻科検診 (3歳児クラス)	嘱託医 (フルヤ耳鼻科 古谷先生)
		就職フェア (23日～24日)	職員2名で参加した
	2日	プール開き	水に親しみながら健康な体作りを行っていった
	6日	七夕の集い (地域交流行事)	パネルシアターで七夕のお話を聞き、鶴を貼って天の川を作った。地域の方々は七夕製作を楽しんだ
8	12日	避難訓練 (地震)	防災頭巾を被って園庭へ避難した
		プール開放 (異年齢交流事業)	地域の親子に開放 (11:00～11:45) <8月まで>
		足型とり (全児)	土踏まずの形成を見た
	4日	避難訓練 (台風)	人数の少ない土曜日に訓練を行った
		プール開放 (異年齢交流事業)	
		プール終了	
9	3日	内科健康診断 (全児)	嘱託医 (明石医院 明石先生)
	5日	防犯訓練 (不審者侵入)	不審者侵入を合言葉で知らせ避難した
	8日	わかば祭り (世代間交流事業)	子どもみこしや出店 (ゲーム) を準備していたが警報発令のため中止となった
	13日	総合避難訓練・消防車来園 (地域交流事業)	通報・避難・消火の総合訓練を行い、地域の方々も一緒に避難し消防士からの話を聞いた
	19日	バス遠足 (3, 4歳児クラス)	マイクロバスで海遊館へ行った
	20日	園庭開放・地域サーキット遊び	地域の方と2歳児クラスと一緒に遊び交流を楽しんだ
10	1日	視力測定 (3, 4歳児クラス)	看護師による検査
	2日	視力測定 (3, 4歳児クラス)	看護師による検査
	11日	ミニ運動会 (地域交流事業)	「さわむらしげはるとにこにこ楽団」に来園いただき地域の方と一緒に体を使った音楽遊びを楽しんだ
	19日	園外保育 (4歳児)	電車に乗ってピオパークにでかけた
	23日	避難訓練 (竜巻)	早朝の合同保育時間に訓練を行った
	25日	眼科検診 (3, 4歳児クラス)	嘱託医 (もりおか眼科 森岡先生)

月	日	行 事 名	行 事 内 容
11	2日	バス遠足 (3、4歳児)	伊丹こども科学館でプラネタリウムを楽しんだ
	8日	クッキング (地域交流事業)	地域の方が親子でスイートポテトを作り交流を楽しんだ
	8日	避難訓練 (漏電)	夕方の合同保育時間に訓練を行った
	5日	実習生受け入れ (～11/16)	2、3歳児クラスで実習を受け入れた
	16日	手洗い、うがい指導 (2、3歳児クラス)	看護師による手洗いの仕方について指導を受けた
	28日	わかばっこ発表会 第1回予行	
		個人懇談会 0歳児 (11/5～11/9) 1歳児 (11/19～11/30) 2歳児 (11/12～11/16) 3歳児、4歳児 (12/10～12/21)	午睡時間やお迎えの時間などを利用して、子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、成長を喜び合ったりした
12	3日	乳児内科健康診断 (0・1・2歳児クラス)	嘱託医 (明石医院 明石先生)
	5日	わかばっこ発表会 第2回予行	
	8日	わかばっこ発表会	乳児は日頃の姿を、幼児は歌や合奏、劇などを時間を分けて発表し子どもたちの成長を喜びあった
		園内研修 (12/10、13、27)	午睡時間を利用して園長研修会で聞いた講演内容を伝え、乳児保育について学び合った
	12日	避難訓練 (ガス漏れ)	悪天候のため保育室に集合し、避難時の話を聞いた
	18日	防犯訓練	笛を吹いて不審者発見を知らせ避難した
	21日	お楽しみ会 (異年齢交流事業)	地域の方と一緒に「ふき玉屋」さんのシャボン玉パフォーマンスを見たり、サンタさんにプレゼントをもらったりして楽しんだ
1	23日	避難訓練 (火災)	火災を想定し園庭から近隣公園に避難した
	31日	ベビーマッサージ教室 (地域交流事業)	講師を呼んで地域の方々と交流する時間を楽しんだ
2	5日	避難訓練 (漏電)	非常階段を使って園庭に避難した
	13日	野田小学校見学 (4歳児クラス)	野田小学校に見学にいき入学への期待を高めた
	18日	幼保小交流会見学	交流会のようすを見学した
	21日	公開保育 (豊中こども財団)	豊中市の保育士が来園し日頃の保育を振り返った
	26日	ピアノコンサート	地域の方と一緒にピアノ、マリンバ、ヴァイオリンの演奏を楽しんだ
	27日	からだのしくみを知ろう (3、4歳児)	大型からだパズルを使って看護師の話を聞いた
		内科健康診断 (全児)	平成31年度の新入児の健康診断後に入園説明会を実施した
3	1日	新入児入園説明会、内科健康診断 面談	
		クラス懇談会 3/1 0歳児クラス	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子を話し合ったり、成長を喜び合ったりした
		3/7 1歳児クラス	
		3/8 2歳児クラス	
		3/15 3歳児クラス	
		3/20 4歳児クラス	
	6日	避難訓練 (地震)	地震を想定しローズ文化ホールへ避難した
	12日	防犯訓練	不審者侵入を想定し訓練を行った
	27日	ゆたか保育園との交流	電車でゆたか保育園へ行き交流を楽しんだ

年間を通して毎月の行事

お誕生会 (毎月第4木曜日)

発育測定 (身長・体重・胸囲)

園庭開放 (毎週火、木曜日)

避難訓練、消火訓練、防犯訓練 (危機管理による)、安全点検

衛生検査 (毎週初めに頭シラミ、手足の爪などの検査)

延長保育事業

体操教室 (2・3歳児クラス 年間11回) アイスリーの講師による指導

音楽教室 (2・3歳児クラス 年間11回) アイスリーの講師による指導

平成 30 年度市立豊中病院内売店(ローソン)事業報告書

1. 売店運営の展開

(1) 平成 26 年 2 月 28 日開設した「ローソン市立豊中病院店」は 5 年を経過しました。

この 30 年度は、29 年度途中から閉鎖していた 1 階のレストランや事務所棟 6 階の職員食堂のうち、30 年 11 月に職員食堂が再開されましたが、売り上げは 29 年度とほぼ同程度を維持できました。しかし、商品の廃棄処分(見切・処分)の増加やクルー職員の人件費の上昇により経常収益は 29 年度に比べ 838,688 円減少し、本部への繰入も 1,000,000 円少なくなりました。

また、30 年度中に行われた病院のコンビニエンスストア公募の結果ローソンが採用され、当法人与ローソンとのフランチャイズ契約を今後 5 年間継続しました。

(2) 31 年度(令和元年度)は、人件費の上昇は続く見込まれますが、商品廃棄処分を減らすため、仕入れ状況を見直し収益の改善を図ります。同時に、店舗リニューアルに併せてお客様のニーズに合った商品揃えや医療用品の充実を図り、院内コンビニとしての特色を生かした売店づくりを行い収益の増につなげていきます。

2. 売上高と客数の推移

		30 年度	29 年度	28 年度	27 年度	26 年度
売上高 (単位千円)	年 間 (前年比)	202,090 (0,11%増)	201,858 (13,8%増)	177,246 (4,6%増)	169,340 (5,5%増)	160,462
	月 間	16,840	16,821	14,770	14,111	13,371
	1 日	553	553	485	462	439
客数 (単位 人)	年 間 (前年比)	427,324 (2,1%減)	436,380 (12,8%増)	386,725 (4,8%増)	368,950 (4,8%増)	361,596
	月 間	35,610	36,365	32,227	30,745	30,133
	1 日	1,170	1,195	1,059	1,008	990